



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます



# 保健福祉システム部会

## 2019年度業務報告会

# 部会活動状況

2020年 2月14日( St. Valentine's Day )

部会長 藤岡 宏一郎

# 1. 保健福祉システム部会の体制

# 2. 国の政策動向

# 3. 2019年度の取り組み状況

# 4. 2020年度の取り組み方針

# 1. 保健福祉システム部会の体制



## 保健福祉システム部会

部会長 藤岡 宏一郎(日立製作所)

副部会長 松谷 正俊(NTTデータ)

副部会長 岩井 俊介  
(キャノンメディカルシステムズ)

副部会長 岡田 明(EMシステムズ)

運営幹事 松原 修(日立製作所)  
※保健福祉システム担当

事務局部長 中村 斉

### PHR検討タスクフォース

リーダ 金本 昭彦 (日本コンピューター)  
リーダ 鹿妻 洋之 (オムロンヘルスケア)

## 地域医療システム委員会

委員長 田中 良樹 (富士通)

副委員長 濱島 健一 (NTTデータ)

副委員長 安田 典弘 (日本電気)

副委員長 北山 健児 (富士通)

### 医療介護連携WG

リーダ 光城 元博 (日立製作所)

### 地域医療連携IHE-ITI検討WG

リーダ 足立 重平 (日本電気)

### 地域医療連携画像検討WG

リーダ 北山 健児 (富士通)

### 地域医療連携診療文書標準化WG

リーダ 矢原 潤一 (日本電気)

### 地域医療連携評価指標検討TF

リーダ 田中 良樹 (富士通)



## 健康支援システム委員会

委員長 鹿妻 洋之（オムロンヘルスケア）  
副委員長 山根 知樹（NTTデータ）

## 健康情報技術WG

リーダー 濱島 健一（NTTデータ）

## データ分析・活用モデル検討WG

リーダー 岩田 淳也（日立製作所）

## JAHIS-日本HL7協会合同 健康診断結果報告書規格WG

リーダー 濱島 健一（NTTデータ）

## 福祉システム委員会

委員長 金本 昭彦 (日本コンピューター)

副委員長 今井 敏彦 (日本電気)

副委員長 川崎 英樹 (日立製作所)

副委員長 坂崎 光章 (富士通)

### 介護保険事務処理システムWG

リーダ 田中 卓 (富士通)

### 後期高齢者WG

リーダ 岩田 孝一 (日本電気)

### 障害者総合支援WG

リーダ 福田 佳孝 (富士通)

### 介護事業者連携WG

リーダ 鴻谷 則和 (日立システムズ)

### 子ども子育て支援WG

リーダ 河野 大輔 (富士通)

### 国民健康保険WG

リーダ 大村 周久 (富士通)

### 保健衛生WG

リーダ 名取 剛 (日本コンピューター)

## 2. 国の政策動向

経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代  
『Society 5.0』への挑戦～（骨太方針2019）  
が閣議決定（2019/6/21）された。

## 【当部会に関係する主な内容】

- 団塊世代が75歳以上に入り始める2022年までに  
社会保障制度の基盤強化
- 予防・重症化予防・健康づくりの推進
- 医療・介護制度改革では、
  - ・ 医療・福祉分野サービスの生産性向上
  - ・ 総合的な医療提供体制改革
  - ・ 保険者機能の強化

全世代型社会保障検討会議（2019/9/20、11/8）  
年金、医療、労働、介護など、社会保障全般にわたり  
持続可能な改革を図る必要があるとの議論あり。

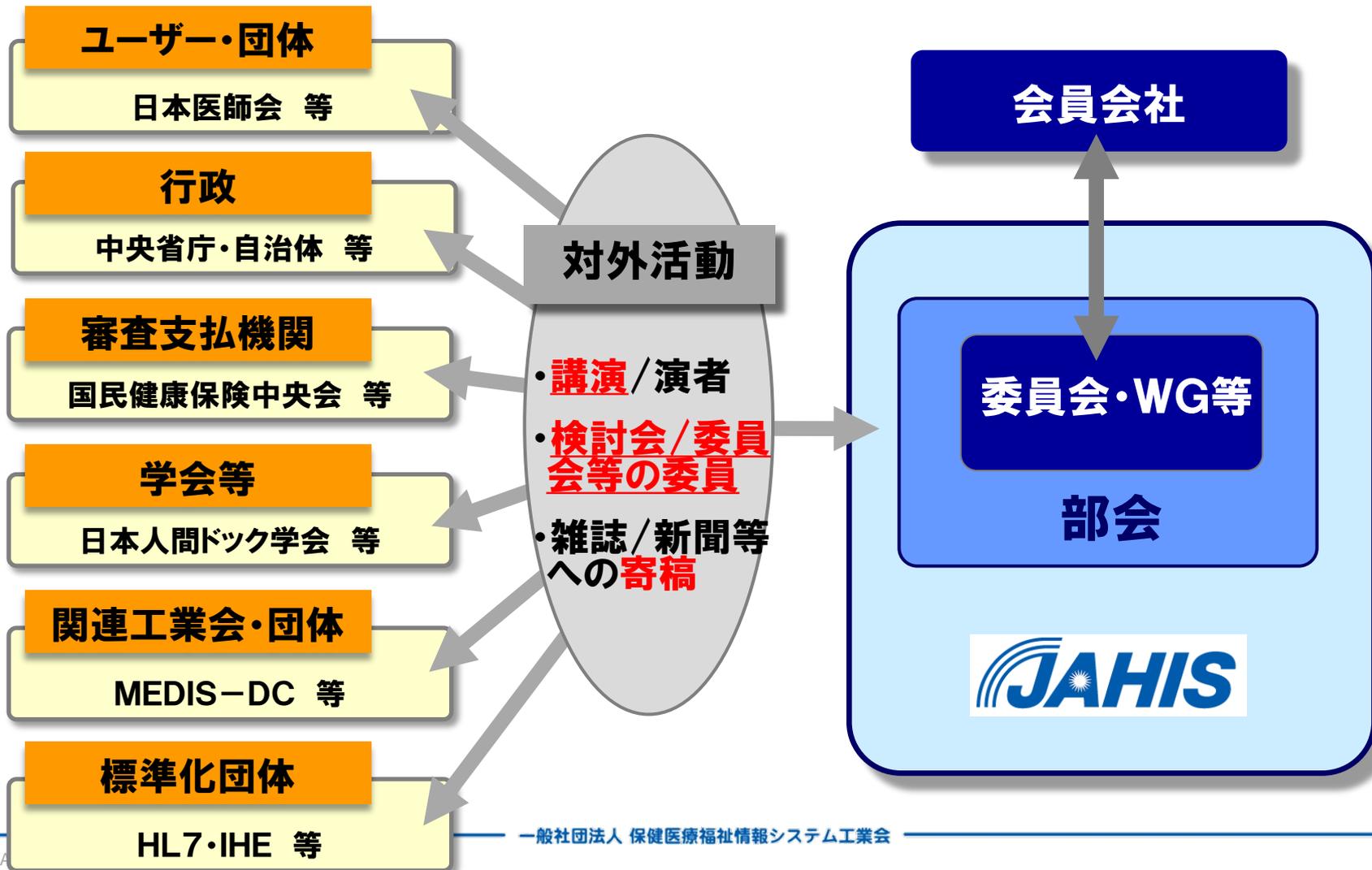
## 【主な内容】

- 少子高齢化が進む中で、これまでの社会保障システムの改善にとどまることなく、システム自体の改革を進めていくこと。
- 70歳までの就業機会の確保の法制化や、意欲ある方が兼業・副業できる環境整備、年金の受給開始年齢を自分で選択できる範囲の拡大、また、疾病や介護予防へのインセンティブ措置を強化すること。
- 全世代型社会保障検討会議においては、少子高齢化と同時にライフスタイルが多様化する中で、人生100年時代の到来を見据えながら、お年寄りだけではなく、子供たち、子育て世代、更には現役世代まで広く安心を支えていくこと。

## 3. 2019年度の取り組み状況

- (1) 現在検討が進められている**被保険者証の個人単位化、オンライン資格確認等**を活用した新たな保健医療サービスについて、**関係機関と連携を図り**、情報システム分野の専門家として効率的なシステム構想を提言した。
- (2) 個人・患者単位で最適な健康管理・診療・ケアを提供するための基盤としての「**全国保健医療情報ネットワーク**」を活用した**地域の保健・医療・福祉・介護の連携、施設間や多職種間での連携データの標準化・普及、PHR等の実現**に向け、関係省庁事業への参加や行政機関、関係団体への積極的な**提言**を実施し、業界のビジネスの創出を図った。
- (3) **保健医療ビッグデータ活用推進**に向け、引き続き**関係機関・団体と連携し検討会等**に委員を派遣する等、各種健診関連システムの普及やデータヘルス計画の効果的な実施に資する活動・提言を実施する。また**ヘルスソフトウェア、ビッグデータ分析、民間PHR事業者の活用等**に関連した調査や提言を行い、健康情報活用ビジネスの創出・拡大を図った。
- (4) **子供たちの幼稚園、保育所、認定こども園の費用の無償化**に加え、児童手当、児童扶養手当、障害児福祉サービス等の子どものための**教育給付**について、**関係府省、地方自治体と連携**を図り、情報システム分野の専門家として積極的に提言した。
- (5) JAHIS他部門の委員会等との連携による積極的な情報収集に基づく**会員への情報提供、関係省庁・関係機関・学会への積極的提言**を実施した。

保健福祉システム部会では、国の制度変更に対応した新たな実証事業、検討会等に参画するとともに、各種セミナー・講演会・勉強会等を開催し会員への情報提供を実施



- 厚生労働省／「国民の健康づくりに向けたPHRの推進に関する検討会」へオブザーバ派遣
- (株)野村総合研究所／「PHRの推進に関する検討会 自治体健診(検診)作業班」へ委員派遣(厚生労働省)
- 「民間事業者によるPHRの適正かつ効果的な利活用に向けた勉強会」へ委員派遣(総務省)
  
- 厚生労働省／「保険者による健診・保健指導等に関する検討会 実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するWG」への委員派遣

## <厚生労働省関連>

- (株)野村総合研究所／「要保護児童等の情報共有システムの構築に関する検討会」への委員派遣
- (株)三菱総合研究所／「医療介護連携時における標準仕様の作成等に向けた検討委員会」への委員派遣
- みずほ情報総研(株)／「障害福祉データベース構築に向けた調査研究に係る検討会」へオブザーバ派遣
- (株)インサイト／「障害福祉サービス事業所における生産性向上に関する調査研究 検討委員会」への委員派遣

■ 「コンテンツ検討委員会」への委員派遣

■ 独立行政法人 福祉医療機構／「WAMNET事業推進専門委員会」への委員委嘱

■ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター／「健康・医療・介護分野の分野横断的なデータ収集・利活用・解析基盤の構築による介護予防に資するAI等開発についての研究」へ委員派遣

- 国民健康保険中央会／「障害者総合支援事務処理システム検討会」への委員派遣
- 国民健康保険中央会／「広域連合標準システム研究会」へのオブザーバ派遣
- 国民健康保険中央会／「国保保険者標準事務処理システム検討会」へのオブザーバ派遣
- 日本HL7協会／「健康診断結果報告書規格検討会議」への委員派遣
- ニューメディア開発協会／「在宅医療・訪問介護向けスマート端末検討会」への委員派遣

- 公益財団法人 京都高度技術研究所／「第4回 健康・健診データ可視化と活用プロジェクト会議」の講演
- 日本医療情報学会／「第39回 医療情報学連合大会」  
JAMI・JEITA・JAHISコラボセッションの座長、演者
- 【健康支援システム委員会】  
健康診断結果報告書規格 Ver.2.0

## 4. 2020年度の取り組み方針

- ◇ **被保険者証の個人単位化、オンライン資格確認等**を活用した新たな保健医療サービスについて、専門家として提言していく。
- ◇ 「全国保健医療情報ネットワーク」を活用した**地域の保健・医療・福祉・介護の連携、施設間や多職種間での連携**データの標準化・普及、PHR等の実現に向け、業界のビジネスの創出を図る。
- ◇ 保健医療ビッグデータ活用推進に向け**データヘルス計画の実施**に資する活動と、**健康情報活用ビジネスの創出・拡大**を図る。
- ◇ 幼稚園、保育所等の費用無償化に加え、児童手当、児童扶養手当、障害児福祉サービス等の**子どものための教育給付**について、情報システム分野の専門家として積極的に提言を行う。

- 積極的な情報収集に基づく会員への情報提供
- 関係省庁事業への参加や行政機関、関係団体への積極的な提言



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

**ご静聴、誠に有難うございました。**

**今後とも保健福祉システム部会へのご支援をよろしくお願い致します。**

